

7月から8月にかけてコロナが猛威を振るい、9月からは分散登校とオンライン授業、10月からの時差登校開始となりましたが、昼休みの食事指導のおかげもあり比較的安定した学校生活が送れたと思います。11月の文化祭では、感染防止に努めつつ催し物を行い、風船や階段アートなどの装飾も檜祭を盛り上げてくれました。特に月が輝く大空に上がった花火はとてもきれいで、迫力があり、みんなの胸に焼きついた後夜祭のフィナーレだったと思います。地域の方々も海軍道路沿いに花火を楽しんでくれたと後日聞きました。

さて話は変わりますが、「日本沈没」という先日終了したTBSのドラマを見ましたか。主演の小栗旬さんや杏さん、香川照之さんという豪華な俳優さんが出ていました。この「日本沈没」は、原作が小松左京さんで1973年に出版された小説です。今から50年も前のことです。当時はドラマにも映画にもなりました。「日本人が国を失い、放浪の民族になったらどうなるのか」ということをテーマに捉えており、日本列島沈没はあくまでその舞台設定ということだったようです。2006年には、草彥剛さんと柴咲コウさんを主演にリメイクされたようです。この「日本人が国を失い、放浪の民族になったらどうなるのか」というテーマについて君たちはどう思いますか。ある日、どこか日本語の通じない外国で暮らさなくてはならなくなったらどうしますか？将来海外赴任する、夫について家族で海外に行く、外国の方と結婚するなど、ありえない話ではないですよ。もう少し違う視点で考えてみると、今後人口が減っていく日本で、労働人口を補うために海外から多くの方が移住してきた場合、一緒に働くときなど、英語でのコミュニケーションが必要になるでしょう。英語の授業一生懸命やっていますか。自分には関係ないからと思っていないですか。目の前の授業を大切にしてほしいと思います。

今回の「日本沈没」は、「放浪の民族になってしまう」というテーマの他に、現代の社会課題が盛り込まれていたように思えました。日本沈没の原因が地球環境問題や温暖化だとされていました。主演の小栗旬さんが、SDGsへの貢献を材料にして他国と交渉するという場面もありました。また感染症の流行についても、シベリアの永久凍土が融けてしまったことが原因とされました。これも科学者が現在研究しています。温暖化で日本が沈没するというのが考えにくくても、温暖化による海面上昇により影響を受けている南太平洋の国に置き換えれば、リアルな問題だということがわかるでしょう。気候変動問題を話し合うCOP26が11月にイギリスのグラスゴーで開催されましたが、グretaさんら各国の若者に交じって、横浜の高校生がデモに参加していました。「いてもたってもいれなくて参加した」という気持ちは多くの若者の背中を押したのではないのでしょうか。SDGsが、このように人気ドラマのテーマになったり、2021年の新語・流行語大賞にノミネートされたりしています。昨年の2学期の終業式に初めてSDGsの話をしてから1年が経ち、今年は総合的な探究の時間を中心に学習を進めてくれました。

11 月には 2 年生が上瀬谷小学校の児童と一緒に上瀬谷通信施設跡地で種まきを行い、2 年生全員で瀬谷駅前から上瀬谷通信施設跡地までの海軍道路や大ケヤキの周りに花を植える「フラワーロードプロジェクト」を実施しました。当日はFM横浜で生中継してくれ、先日は毎日新聞にも記事が掲載されました。現在は来年にかけて 16 のグループに分かれて企業や地域の方々と一緒に社会課題の解決に取り組んでいます。きっと卒業後に大きな力になると思います。

3 年生は、SDG s 発表会を 20 日に体育館で行いました。文化祭のポスター展示を中心とした発表でしたが、クラス代表の発表はどれも聞きごたえがありました。中でもアフリカ西部にあるトーゴという国の学生を小さいころから支援しているという発表は素晴らしかったです。ずっと支援活動をしていることも素晴らしいのですが、それをみんなに知ってもらってもっと広げようと考えている点が良いなと思いました。

これらのことに共通していることは、自分一人の力ではできることは小さいが、多くの人に参加して協力すれば、大きな力になる。今勉強していることも卒業して忘れてしまえば、実りは小さいでしょう。継続してみんなが地球や色々な社会課題を自分ごととして取り組めばきっと多くのことが解決できるのではないのでしょうか。年末年始に自分事としてゆっくりと考えてみてください。

最後になりますが、今年は命の尊さについて深く考えた 1 年となりました。来年は皆さんにとって良い 1 年となりますように祈っています。